

# 陳 情 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 2 1	受 理 年 月 日	令和2年11月2日
件 名	少人数学級の実現の要請		
要 旨	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業中（学校封鎖）や学校再開への移行段階で、3密を避けるためにクラスの2分の1程度で分散登校や時差登校が行われたが、20人程度で授業を受けた子供たちからは「いつもより勉強がよく分かった。」「手を挙げやすかった。」などの声が聞かれた。</p> <p>保護者から「ウイルス感染から子供を守るには20人くらいがいい。」などの肯定的な声が多数上がった。少人数で授業を受けられるようにすることで新型コロナウイルス感染症を防ぐとともに、豊かな日々の学習が実現されると思われる。ゆえに、国の感染拡大対策として教室の密を避けるための少人数学級・授業、学校規模の縮小などは国の急務である。</p> <p>絶対に現行の40人学級のままでは感染拡大を防ぐことはできない。教室に社会的距離（最低約50センチメートル）を確保することが必要である。そのためには、小学校及び中学校等の教職員を大幅に増やし、20人学級を展望した少人数学級の実現が急務である。</p> <p>ついては、以上の趣旨に沿って、下記について国に対して意見書を提出するよう願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子供たちの健康を守り、健やかな成長と発達を保障するため、緊急に20人学級で授業ができるようにすること。そのために、小学校及び中学校等の教職員増と教室確保を国の責任で行うこと。</li> <li>2 20人学級を展望した少人数学級を実現すること。そのために、国は標準法令を改正し小学校及び中学校等の教職員定数の改善計画を立てること。</li> </ol>		
陳 情 者			
回付委員会	教育福祉委員会		